

数学系（学士課程）

アドミッション・ポリシー（入学者に求める能力と適性）

理学院学士課程では、幅広い教育と自由な発想に基づいた研究を通じて、社会や文化の発展に広く貢献することを目指しています。そのために次のような学生を求めます。

- ・自然界の仕組みについて深く知りたいという強い好奇心を持つ人
- ・教わるだけでなく、自ら主体的に学ぶことができる人
- ・自分の意見を持ち、他者と議論することができる人
- ・十分な学力と表現力を持つ

数学系では、次のような資質と能力をもつ人材を求めます。

- ・数学への好奇心と探究心を持っていること
- ・物事を論理的に思考し、根気強く考える能力を持っていること
- ・数学的能力を活かして社会に貢献する志を有すること

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

【一般選抜（前期日程）】《全学院共通》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、高等学校の段階の学力確認を行うとともに、本学で学ぶために必要となる、数学、物理、化学および英語に関わる基礎学力ならびにこれを応用する力、論理的な思考力を評価する試験を行います。

【学校推薦型選抜】《理学院》

個別学力検査を免除し、大学入学共通テストの成績、出願書類及び調査書を総合的に評価して合格者を決定します。

数学系（学士課程）

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本系では、「ディプロマ・ポリシー（修得する能力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

- (a) 代数学・幾何学・解析学における基礎理論を、講義と演習を通して修得する。
- (b) (a)で学修した基礎理論の発展・応用として、より具体的な理論や進んだ概念を学修する。
- (c) (a),(b)で学修した理論や概念をもとに、現代数学で常識とされている理論や概念および計算方法を、講義と演習を通じて修得する。
- (d) (a),(b),(c)で学修した理論や概念の自然な延長線上にある理論を学修する。または、より発展的・専門的な理論を学修する。
- (e) 緩い意味での専門分野を選び、その分野で定評のあるテキストを深く読み込み、理解した内容を自分の言葉で再構成する。これらの内容を、講究（学士特定課題研究等）において講義形式で発表し、質疑応答を行う。さらに、現在活発に研究が行われているトピックについて、指導教員からアドバイスを受ける。ここで学修した内容は、修士課程で専攻する分野を選定するのに活用することができる。
- (f) 物理学関連の基礎理論を修得する。

ディプロマ・ポリシー（修得する能力）

数学系では、次のような能力を修得することを目指す。

- ・現代数学の広範な分野（代数学・幾何学・解析学）における基礎知識
- ・高度な専門書の読み進め方、およびその内容を正確に理解する力